

# 特選講師情報

リストNo 15413

2026/01

講師派遣の **ブレンバンク** 株式会社

〒530-0055

大阪市北区野崎町6-7大阪北野ビル

TEL:06-6315-7591 FAX:06-6315-0506

担当者：大瀬 恵美

## ●講演会をする場合は

- ①講演時間は、標準90分です。
- ②講演企画料は、源泉税込み(単位万円)です。
- ③講演企画料には、消費税が別途必要です。
- ④実施の場合は、旅費(交通費・宿泊費)が必要です。
- ⑤※印は、旅費2名分が必要です。

## ■講師陣 (敬称略)



講演料： **C**  
BEST9

## ●激動の時代、どうなる日本経済の展望

**森永 康平**

株式会社マネネCEO / 闘う経済アナリスト

証券会社や運用会社にてアナリスト、ストラテジストとして日本の中小型株式や新興国経済のリサーチ業務に従事。業務範囲は海外に広がり、インドネシア、台湾などアジア各国にて新規事業の立上げや法人設立を経験し事業責任者やCEOを歴任。2018年に金融教育ベンチャーの(株)マネネを設立。経済アナリストとして執筆や講演をしながら、AIベンチャーのCFOも兼任するなど、国内外複数のベンチャー企業経営にも参画。著書は『スタグフレーションの時代』(宝島社新書)や父・森永卓郎との共著『親子ゼミ問答』(角川新書)など多数。日本証券アナリスト協会検定会員。経済産業省「物価高における流通業のあり方検討会」委員。文化放送「おはよう寺ちゃん」レギュラーコメンテーター。

(他のテーマ) ■ 投資初心者が知るべき投資と経済の基礎  
■ これからの時代に求められる金融リテラシーとは



講演料： **B**  
BEST9

元外務事務次官が当時の経験からの教訓も交えながら日米や世界の情勢を読み解く

## ●緊迫の国際情勢と日本の針路

**藪中 三十二**

大阪大学特任教授/(元)外務事務次官

1948年大阪府生まれ。1969年外務省入省、韓国、インドネシア、米国にて在外公館勤務。87年北米局北米第二課長(日米経済摩擦担当)、90年国際戦略2275研究所(ロンドン)主任研究員。91年在ジュネーブ国際機関日本政府代表部公使。95年大阪大学特任教授。98年在シカゴ日本国総領事館総領事。2002年アジア大洋州局長(六者協議首席代表)。05年外務審議官(経済担当・G8サミット・シエルパ)。07年外務審議官(政務担当)。08年外務事務次官に就任。10年外務省退官。主な著書に『トランプ時代の日米新ルール』『世界に負けない日本』などがある。

(他のテーマ) ■ 国際社会の中の日本、その課題と展望  
■ 世界に負けない日本～国家と日本人が今なすべきこと



講演料： **B**  
BEST9

事実認識の共有化を目指して講演を中心に活動中(会場での移動導線は禁煙必須)

## ●地域力と地域経済再生の秘策

**藻谷 浩介**

(株)日本総合研究所 調査部 主席研究員

1988年東京大学法学部卒業。日本開発銀行(現日本政策投資銀行)入行。コロンビア大学経営大学院派遣留学(MBA取得)。94年より(財)日本経済研究所調査局(派遣出向)。99年日本政策投資銀行地域企画部調査役、2007年より地域振興部参事役。09年より1年間DBCシンガポール(株)シニアアドバイザー兼シンガポール政府国際企業庁パートナー。10年より地域支援班参事役。12年より特任顧問、および現職。内閣府地域再生本部「地域活性化伝道師」、中小企業庁「地域中小企業サポーター」など政府関係委員多数。著書に『デフレの正体』『ニッポンの地域力』ほか多数。

(他のテーマ) ■ 地域の未来をひらく視点～人口減少時代における、地域の課題！まちづくりの成功例  
■ 「地域間格差」は本当に拡大しているのか



講演料： **B**  
BEST9

温厚なイメージですが、講演会ではかなり熱弁！

## ●いま政治に求められるもの

**橋本 五郎**

読売新聞特別編集委員

1946年秋田県生まれ。1970年慶應義塾大学法学部政治学科卒業後、読売新聞社入社。本社社会部をはじめ政治部、論説委員、政治部長・編集局次長を歴任。1999年から日本テレビ系列「ジバンクあさ6」「スームイン!!SUPER!」でニュース解説を担当。2006年12月より現職。日本テレビ「スッキリ!」、読売テレビ「ウェークアップ! ぷらす」、情報ライブ「マイな屋」にレギュラー出演。2014年日本記者クラブ賞受賞。主な著書として「心に響く51の言葉」「総理の覚悟」「総理の器量」「範は歴史にあり」「橋本五郎の『どうなる日本!』-政治・経済ここがポイント」など多数。

(他のテーマ) ■ 総理の器量～政治記者がみたリーダー秘話  
■ どうなる日本！ 地方創生へのカギ

■ 講師陣 (敬称略)



講演料： C  
BEST9

「草食系男子」や「おひとりさま」という言葉を世に広め、テレビ・雑誌・講演などで活躍中

● イトキの若者（Z世代、ゆとり世代）の戦力を経営に活かすには？

牛窪 恵

世代・トレンド評論家 / 立教大学大学院 客員教授

東京生まれ。日大芸術学部卒業後、大手出版社入社。5年間の編集及びPR担当の経験を経て、フリーライターへ。雑誌やテレビの企画、執筆や企業PRに取り組む。2001年マーケティングを中心にを行う㈱インフィニティ設立。現在、『日経ビジネスオンライン』『日経消費ウォッチャー』ほか『プレジデント』『週刊ダイヤモンド』『AERA』などに連載、定期寄稿中。講演活動やTV・ラジオのコメンテーター出演を積極的に行なう。得意分野はトレンド、世代論、マーケティング、小売流通、ホテル、旅行関連。「おひとりさまマーケット」「草食系(男子)」は新語・流行語大賞に最終バネト。

(他のテーマ) ・ 時代のトレンドを読み解き、ビジネスに活かす  
・ 地元の経営に役立つ！現代消費者の価値観とココロとは



講演料： B  
BEST9

赤字企業を世界No.1へ導いた“経営の秘訣”とは？

● 成果を上げるマネジメント～ウェルビーイング実践の秘訣

谷田 昭吾

講演・研修講師/㈱コアウェル代表取締役社長

体脂肪計で世界一となり、社員食堂でも話題になった株式会社タニタの創業ファミリー。同社の営業・新規事業・新会社立ち上げ、海外における役員経験を経て独立。父・谷田大輔氏の最も近くで、公私にわたってその経営学を学び、赤字企業だったタニタを成長させた「タニタの成功法則」を受け継いできた。2013年に書籍「タニタはこうして世界一になった」(講談社)をプロデュース。講演では父から学んだ経営学を客観的視点で語り継ぐと同時に、自身が学んできたポジティブ心理学の視点から「成功法則」をビジネスや日常生活で実践するための方法を伝えている。

(他のテーマ) ・ 健康経営 実践の極意～社員も会社も元気にする5つの法則  
・ 変革する時代における成功法則～タニタで学んだ世界一への“経営の秘訣”



講演料： B  
BEST9

「情報プレゼンターとくダネ！」の気象キャスターとしてお馴染み！

● ちょっと変かな？最近の天気～異常気象と気象災害への備え

天達 武史

気象予報士

1975年神奈川県生まれ。97年御茶ノ水美術専門学校卒業後、9年間ファミレスに勤務。目の前が海だったため、天気で客数が大きく変化。過不足なく食材を発注する為に気象予報士を目指し、2002年7回目の挑戦で試験に合格。05年からフジテレビ系列「情報プレゼンターとくダネ！」の気象キャスターとして出演。天気の「天」に達人の「達」と書いて天達、災害を防ぐ使命を持って、天気の達人を目指し、分かりやすく、興味を持ってもらえるような天気予報が人気に。著書に『気象予報士天達流四季の暮らしと二十四節気の楽しみ方』『アマツさん、ネコが顔を洗うと雨って本当ですか？』など

(他のテーマ) ・ 天気の達人、天達と考える気候変動と地球の未来  
・ 天気の達人、天達と考える“天気”と“防災”



講演料： B  
BEST9

歴史は活用してこそ意義がある！

● 時代の変革期におけるリーダー・シップ

加来 耕三

歴史家・作家

1958年、大阪府生まれ。奈良大学卒業。新鋭な感性と現代に活かす史実の新しい断面を解析し、伝説や通説になった歴史のウソに鋭くメスを入れる作家・歴史家。奈良大学文学部研究員を経て著作活動に入り、講演活動のほかTV「英雄たちの選択(NHK BSプレミアム)」「先人たちの底力 知恵泉(ちえいず)(NHK Eテレ)」等、ラジオ「加来耕三の「歴史あれこれ」(全国のAMラジオ局12局)」等の番組監修・構成・出演。著書に『家康の天下取り 関ヶ原、勝敗を分けたもの』『日本史を変えた偉人たちが教える 3秒で相手を動かす技術』『読むだけで強くなる 武道家の金言』『戦国美女は幸せだったか』『リーダーは「戦略」よりも「戦術」を鍛えなさい』『加来耕三の感動する日本史』など多数。

(他のテーマ) ・ 歴史に学ぶ魅力あるリーダーとは  
・ 戦国武将に知恵を学ぶ



講演料： B  
BEST9

カル・リプケン小学生世界大会の日本代表、星野ジャパンの監督に5年連続で就任

● 個の能力・可能性の伸ばし方

～イチロー、田中将大との出会いを通じて

奥村 幸治

ベースボールスピリッツ代表・プロゴルファー

イチロー選手が210安打達成時に専属打撃投手を務めていたことから「イチローの恋人」としてマスコミに紹介され、話題に。中学軟式野球チーム(宝塚ボーイズ)を結成し監督を務める一方、各地で講演活動をする。宝塚ボーイズの教え子に田中将大、下村海翔がいる。2008年NPO法人ベースボールスピリッツ設立。野球を通じ子供達の健全な心身の成長を図ると共に幅広い世代交流、地域交流に努める。カル・リプケン小学生世界大会の日本代表、星野ジャパン監督として5年連続就任。13年に3年連続世界一達成。22年日本創造教育研究所顧問就任。23年NPO法人ベースボールスピリッツ解散、宝塚ボーイズ解団。その後、講演講師、研修講師、野球教室開催などの活動を開始。

(他のテーマ) ・ 一流の習慣術～イチローに学んだこと、マー君に教えたこと  
・ 目標達成のための心・技・体～イチローの原点を知る男 田中将大を育てた男一流選手

■ 講師陣 (敬称略)



講演料： B

情報通と呼ばれる人が、ネタを仕込みにくる講演会を目指しています

● 地政学リスクの時代と日本経済

吉崎 達彦

エコノミスト/株式会社溜池通信 代表取締役

1960年富山県生まれ。一橋大学社会学部卒業後、日商岩井㈱に入社。広報誌『トレードピア』編集長を経て、米国ブルッキングス研究所客員研究員、経済同友会調査役などを経て、日商岩井とニチメンの合併により'04年より現職。自身のホームページ「溜池通信」にて、米国の政治経済について鋭く分析したレポートを配信。産経新聞「正論」、毎日新聞「ナビゲート」、中央公論「時評2015」などで連載コラムを持つほか、TV東京朝日「モーニングサテライト」コメンテーターなど、テレビ・ラジオでも出演多数。著書に『オバマは世界を救えるか』『世界経済連鎖する危機』などがある。

(他のテーマ) ・ 日本・世界経済大予測  
・ 世界の視点で考える日本経済の行方



講演料： B

揺れ動く国内外のタイムリーな話題をわかりやすく伝えます

● 緊迫する国際情勢と日本の課題

村田 晃嗣

同志社大学教授

1964年兵庫県神戸市生まれ。87年同志社大学法学部卒業。95年神戸大学大学院博士課程修了。この間、91～95年米国ジョージ・ワシントン大学留学。95年広島大学専任講師。96年読売論壇新人賞・優秀賞受賞。98年神戸大学博士。99年広島大学総合科学部助教授。アメリカ学会清水博賞・サントリー学芸賞受賞。2000年吉田茂賞受賞。朝日放送番組審議会委員。00年同志社大学法学部助教授。05年同教授。11年同法学部長。13年4月より1期16年3月まで学長。'25年7月より東京大学先端科学センター客員上席研究員。テレビ朝日「朝まで生テレビ」・読売テレビ「そこまで言って委員会NP」にパネリストとして不定期出演。

(他のテーマ) ・ 内政・外交に見る 今、期待されるリーダーシップ  
・ トランプ政権と日本の課題



講演料： B

著書『未来の年表』の反響の大きさから、講演依頼が殺到している！

● 縮んで勝つ 人口減少日本の活路

河合 雅司

人口減少対策総合研究所 理事長/作家・ジャーナリスト

1963年愛知県名古屋生まれ。中央大学卒業。専門は人口政策、社会保障政策。内閣官房有識者会議委員、厚労省検討会委員、農水省第三者委員会委員などを歴任。2014年、「ファイザー医学記事賞」大賞を受賞。主な著作に『中国人国家ニッポンの誕生——移民栄えて国滅ぶ』(共著、ビジネス社)、『医療百論(2015)』(共著、東京法規出版)、『地方消滅と東京老化——日本を再生する8つの提言』(共著、ビジネス社)など。

(他のテーマ) ・ ○○(県名)の未来年表～～人口減少でこれから起きること  
・ 「未来の年表」から読む○○(エリア名)圏～人口減少時代を勝ち残る



講演料： B

第63回ブルーリボン 作品賞「Fukushima50」原作者が語る

● 新聞・雑誌ジャーナリズムの舞台裏

～極限で発揮してきた日本人の現場力とは

門田 隆将

作家・ジャーナリスト

1958年高知県生まれ。中央大学法学部政治学科卒業後、新潮社に入社。週刊新潮時代は、特集班デスクとして18年間にわたって政治、経済、歴史、司法、事件、スポーツなど、さまざまな分野で800本近い特集記事を執筆した。独立後、「毅然と生きた日本人」をテーマに、ノンフィクション作家として次々と話題作を発表。代表作に、司法の病理を扱った『裁判官が日本を滅ぼす』(新潮社)、光市母子殺害事件の9年間を描いた『なぜ君は絶望と闘えたのか——本村洋の3300日』(新潮社)、『疫病2020』(産経新聞出版)等がある。

(他のテーマ) ・ 私達は国家の難題をどう考えるべきか  
・ 歴史の岐路に立つ日本 ～私たちは今、何をすべきか



講演料： B

科学のホントの基本をe知るだけで、あなたの頭は柔らかくなる！？

● 科学が変わる 技術が変わる ビジネスが変わる

竹内 薫

サイエンス作家

1960年東京生まれ。東京大学教養学科・物理学科卒業。マギル大学院博士課程修了。理学博士。大学院修了後、サイエンスライターとして活動。物理学解説書や科学評論を中心に100冊あまりの著作物発刊。06年「99.9%は仮説～思い込みで判断しないための考え方」が40万部超のベストセラーに。物理・数学・脳・宇宙など幅広い科学ジャンルで発信を続け、執筆、TV、ラジオ、講演など精力的に活動。日頃縛られることの多い思い込み、常識、前例、先入観、固定観念などの慣例や見方を少し変えるだけでビジネスや人生に役立つヒント満載。

(他のテーマ) ・ フェイクニュース時代の科学リテラシー  
・ AIと共存する未来

■ 講師陣 (敬称略)



講演料： B

全ての現場を「ディズニーランド」やUSJのようなワクワクする価値を創り出す組織、人材、場へ！

● 部下を本気にできる上司、やる気を奪う上司

～テーマパークの上司から学んだ自律型人材育成とは

今井 千尋

2大テーマパーク 人材育成・人材開発トレーナー

㈱オリエンタルランドへ入社。東京ディズニーシー開業時には自社内導入研修講師として数千名の研修を実施。その後、合同会社ユー・エス・ジェイへ転職。森岡毅氏がマーケティング本部長時代、直下プロジェクトであるゲストサービス向上施策にも立ち上げメンバーとして参画。各部門及び全社的なCS向上、CS人材を育成。企業内大学の創設に一貫して携わる等、USJのV字回復期に人材育成・人材開発の側面から支えてきた。2019年より人材育成・人材開発コンサルティング会社を設立。独自性のあるコンテンツは好評。SHIBUYA QWS コモンズにも就任し、スタートアップ企業～大手企業まで人材育成、人材開発分野の有識者として貢献している。

(他のテーマ) ■ 自ら考え、分析し、行動から成果を創り出す自律型人材の育て方  
■ 一人ひとりの特徴を活かす組織づくり



講演料： C

● イノベーションを生む、新しい時代の組織経営

田中 雅子

経営総合コンサルティングファーム 田中総研代表

静岡県生まれ。慶応義塾大学法学部卒業。英留学を経て、慶応義塾大学大学院など修了。L.L.M.(法学修士)、M.B.A.(経営学修士)。大学院在学中にバブル崩壊し、窮地の家業を継ぎ資金繰りに追われる悪戦苦闘の日々ですべてを失う。稼ぐために外資系企業入社、1年で部長に。その後、㈱ファーストリテイリング(ユニクロ)経理部マネージャー入社。経理部・監査部所属にもかかわらず、全社プロジェクトを立ち上げ、マネージャー兼任。「ダイバーシティプロジェクト」も立ち上げ、V字回復の一翼を担う。その後、一部上場企業執行役員、子会社社長を経て、独立。現職。経営戦略、経営企画、ダイバーシティ、組織・人材再生などの経営総合コンサルティングや企業研修、講演、執筆など幅広く活動。

(他のテーマ) ■ ユニクロ流 プロフェッショナルマネージャー5つの条件  
■ ユニクロで学んだ巻き込み力



講演料： B

中国古典をビジネス戦略から生き方まで、今の自分に学ぶ・活かす

● キングダムの秦王、中国統一の原動力『韓非子』に学ぶ

守屋 淳

作家/グロービス経営大学院大学特任教授

1965年東京生まれ。中国古典第一人者の守屋洋が父。早稲田大学文学部卒業後、大手書店勤務を経て、中国古典、主に『孫子』『論語』『老子』『莊子』『三国志』等の知恵を現代にどうに活かすかをテーマに執筆、企業研修・講演を行う。著書『最強の孫子』(日本実業出版社)繁体字と韓国語に翻訳。中小～上場企業トップや第一線ビジネスマン、キャリア官僚等との勉強会を多数行い、常に最新の知見、情報を取り入れる。単なる古典の解説にとどまらず、時代背景、現代の事例、エピソードを交え、スピード感ある飽きさせない講義に定評。

(他のテーマ) ■ 『中国古典』に学ぶリーダーシップ  
■ 乱世における孫子の兵法とビジネス戦略



講演料： D

にこやかで明るいキャラクターに加え、バイタリティーのあるエネルギッシュな講演が好評

● 人生というゲームの中で～勝つために何をなすべきか

松木 安太郎

サッカー解説者

1957年11月東京都生まれ。小学4年で読売サッカークラブ入部。高校時代GKからDFにポジション変更、ユース代表に選ばれる。16才にして読売サッカークラブ・トップチーム(当時日本リーグ2部)に最年少選手として登録され、メキシコ・ワールドカップ予選、ソウル五輪予選、キリン・カップ等に右サイドバックで出場。1990年現役引退後、読売サッカークラブ・ユース監督、読売サッカークラブ・トップチーム監督を歴任。2001年東京ヴェルディ1969監督に就任。現在は、各地でのサッカー指導の他、パワフルでユーモアセンス溢れた語り口の解説者としても活躍中。

(他のテーマ) ■ 私のサッカー人生(講演70分)  
■ 負けてたまるかサッカー人生



講演料： B

オリンピック金メダリスト、甲子園出場校を指導

● 燃えるチーム作り

飯山 昶朗

人財教育家/メンタルコーチ

1969年富山県生まれ。家電業界でトップセールスマンとなり、労働組合役員も務めた。その後、商工団体 経営指導員として11年間で5,000件超の相談をこなした。起業後、講演・研修講師として「コーチング手法で教える」研修スタイルが口コミで拡がり、経営者の会最年少会長として、年間セミナー集客数日本一を実現した。野球部のメンタル指導で県大会で歴史的な大逆転で甲子園出場を決めた高校を始め、20年振りの国体表彰台、創部2年目で全国大会出場、26年振りに県大会優勝と、結果を出す組織やチームが続出。現在は、企業経営者や経営幹部、チーム指導者を対象に、停滞する組織を熱く燃えるチームに生まれ変わらせるべく、全国でリーダーシップ教育を行う。

(他のテーマ) ■ メンタルトレーニングでやる気に火をつける  
■ 最強プラス思考のつくり方